

当社は、HS財団動物実験認定施設です

第 3 号

2017年(平成29年)1月1日(営業企画部発行)

株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: http://www.nbr.co.jp/



## 聴覚毒性・薬理試験



弊社では、聴覚に対する薬物の毒性評価や薬効評価を主に聴性脳幹刺激反応 (ABR) を用いて実施しています。ABR測定は手間と時間のかかる検査法ですが、適切な測定条件を設定して熟練した研究者が評価することで、客観的で有効な評価法になります。

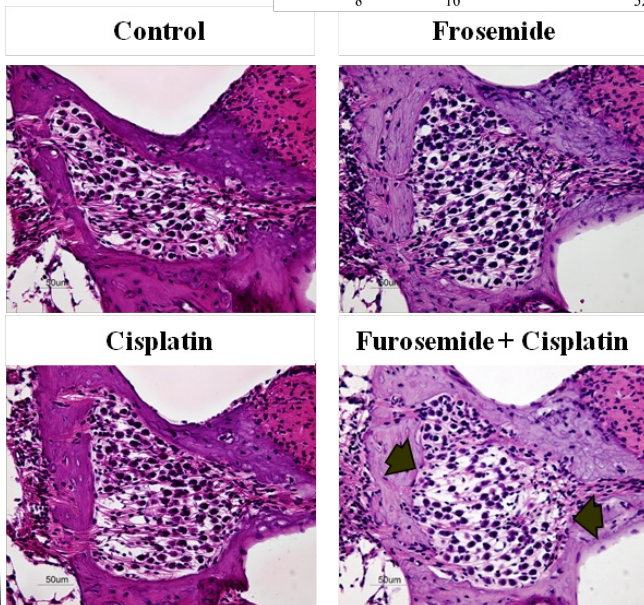
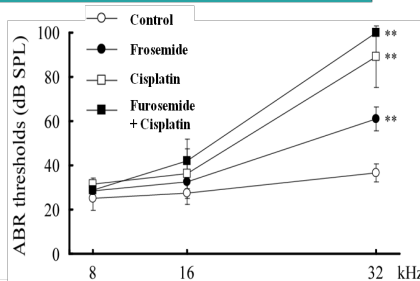
ここでは、聴覚に関連する弊社の試験種と薬効評価のための難聴モデルを紹介します。

【NBRの聴覚に関する試験】	【使用動物】
聴覚毒性試験(経口投与、中耳腔内投与等)	マウス、ラット、モルモット、イヌ、ミニブタ
加齢性難聴モデルを用いた薬効試験及び毒性試験	マウス
騒音性難聴モデルを用いた薬効試験	モルモット
鼓膜穿孔モデルを用いた薬効試験	モルモット
サリチル酸処理モデルを用いた蝸牛血流測定試験	モルモット

### マウスを用いた聴覚毒性試験

#### < 実験概要 >

使用動物: C57BL/6J マウス  
 薬物: Cisplatinおよび  
 Furosemide  
 評価項目: ABRおよび  
 病理組織学的検査

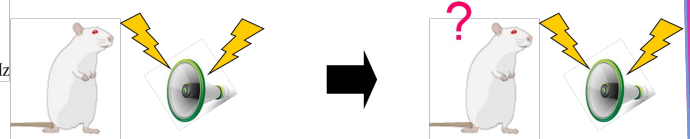


< 内耳のHE染色像 > ( →: 螺旋神経節細胞の減少 )

### モルモットを用いた騒音性難聴モデルのABR試験

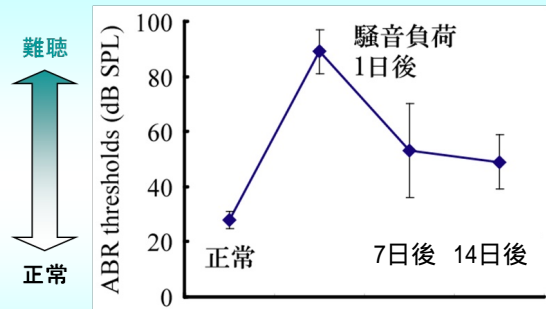
#### < 実験概要 >

使用動物: モルモット  
 騒音負荷: オーディオ装置にて高音圧で4時間暴露



曝露条件: ホワイトノイズ

測定条件: 聴力推移 (8および20 kHz) を測定



< 騒音性難聴モデルのABR閾値 >

